

大崎地域を世界農業遺産へ vol.19

大崎耕土の豊かさを語る④

自然の恵みと人の知恵にはぐくまれた大崎耕土

大崎地域は良質米の産地として全国に名を知られています。その実りは、奥羽山系によって集められた水、その水が育んだ広大で豊かな大地の「自然の恵み」と、水を大切に使う知恵(水利システム)と、土を肥やし、稲を育てる「人の知恵」の賜物です。

船形山や荒雄岳周辺の奥羽山系に降った雨は、山の土を削り、森が蓄えた栄養分を溶かしながら、江合川と鳴瀬川になります。この2つの川は運んできた山の土を洪水のたびごとに堆積させ、ミルフィーユのような縞状の土の層(写真)とともに広大な湿地帯を作りあげました。そして、湿地に育ったヨシなどの植物は湿地の環境では分解しにくいので、長い期間をかけて堆積し有機物の層となって、これもゆっくり分解しながら稲を育てる養分になります。

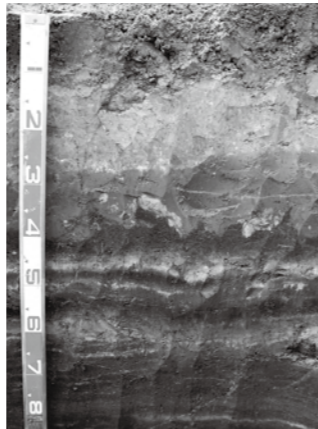
山地とつながっている自然の恵みによって育まれた大崎耕土の土は、農家がたゆまず行ってきた土作りによってさらに肥沃になりました。そして水利システムによって賢く利用された豊かな水資源と、高い稲作りの技術が重なって、豊かな実りをもたらしてきました。

持続的な農業システムと先人が築いてくれた大崎耕土の豊かな土は、次世代につなげていきたい大切な遺産です。



東北大学大学院 准教授
いとう とよあき
伊藤 豊彰 さん

▶宮城県古川農業試験場内の水田の土壌断面(ものさしは1目盛り10cm)



水田を約1m掘って見た、土の横顔を土壌断面といいます。稲作のために耕され、栄養分豊富になった表面の層(作土12cmくらい)の下には、川によって運ばれ、洪水のたびに堆積した土の層がたくさん見られます。40cmより深いところの黒く見える層は、1,000年以上も前にヨシなどの植物が堆積した層です。土は長い時間をかけて作られ、歴史を刻み込んでいることがわかります。土は大切にしたい地域の財産です。



【問い合わせ先】産業政策課
世界農業遺産推進室
☎ 23-2281
sangyo@city.osakimiyagi.jp

1月1日現在の人口(単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	38,103	+ 1	39,690	- 20	77,793	- 19	30,670
松山	3,034	- 7	3,190	- 11	6,224	- 18	2,186
三本木	4,005	- 5	4,055	- 1	8,060	- 6	2,690
鹿島台	5,862	- 4	6,273	+ 6	12,135	+ 2	4,534
岩出山	5,487	- 9	5,775	- 14	11,262	- 23	4,228
鳴子温泉	3,037	- 2	3,405	- 9	6,442	- 11	2,811
田尻	5,584	- 4	5,726	- 14	11,310	- 18	3,593
市全体	65,112	- 30	68,114	- 63	133,226	- 93	50,712

☎ 市政情報課統計担当 ☎ 23-5091

今月の納税

納期限: 2月28日(火)

□ 軽自動車税	—
□ 固定資産税・都市計画税	—
□ 市県民税	—
☑ 国民健康保険税	第10期
☑ 介護保険料	第10期
☑ 後期高齢者医療保険料	第8期
□ 個人事業税	—

☎ 納税課収納担当 ☎ 23-5148

空間放射線量の測定結果

(単位: マイクロシーベルト/h)

1月16日測定	地表面から1m	地表面から0.5m
市役所第2駐車場	0.05	0.05
松山総合支所	0.05	0.04
三本木総合支所	0.06	0.06
鹿島台総合支所	0.05	0.05
岩出山総合支所	0.07	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.06
田尻総合支所	0.06	0.06

火災発生件数

(12月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	37件	+ 14
林野火災	2件	+ 2
車両火災	8件	+ 1
その他火災	14件	- 2
合計	61件	+ 15

交通死亡事故件数

(1月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	0件	0
死亡者数	0人	0

☎ 防災安全課 消防担当・交通安全担当・放射能対策室 ☎ 23-5144

2月号の主な内容

- 胃がん健診 受けていますか
国民健康保険から見た市民の疾病の様子
- 大崎市の地酒で乾杯!
大崎市地酒で乾杯を推進する条例が施行されました
- 輝かしい新年の幕開け
第9回宝の都(くに)・活性化貢献賞・新春講演会・新年祝賀会
- 十年物語 ~おおさき人の軌跡~
青少年のための大崎市民古川会議会長 小野寺昌之さん
古川消費者の会顧問 西川きょう子さん
- 地域づくりファイル
④ 田尻地域 大貫かんぼやま委員会
- 市政トピックス 1月の主な出来事
- 地域発!お・ら・ほ・の・ま・ち
- オオサキプレイガイド
- 各計画に対する皆さんからの意見を募集します ほか
- 今月のお知らせ
- 子育て支援情報
- 育児相談・乳幼児健診
- 休日当番医 ほか

パタ崎さんの観光ひとくちメモ



その7
2017観光ガイドブックとポスターが完成したよ!
▲大崎市観光ガイドブック ☎ 観光交流課 ☎ 23-7097

大崎市観光ガイドブック第10弾が、多くの皆さんの協力で完成したよ。
定番の観光情報に加えて、新たに発酵食品などの隠れた魅力や味をとりあげ、手にしたみんなが、オリジナルの旅行プランを立てられるように、見やすい内容になっているんだ。
ポスターは、初の試みとして、温泉と渡り鳥の2枚で1対になるポスターに仕上げたよ。



ひとつは「求める湯がここにある」。もうひとつは「宿泊客数 十萬羽」をキャッチコピーに、人にも渡り鳥にも選ばれる、魅力豊かな大崎市を表現しているんだ。
この一年、新しいガイドブックとポスターを通じて、全国へ大崎市の魅力をどんどん発信していくよ。

市長コラム

天地人

鳥の目・鶏口牛後

大崎市は渡り鳥に選ばれたまちです。毎年10万羽ものマガンを中心とした渡り鳥が飛来する日本有数の飛来地です。

西年の新年早々に、蕪栗沼に赴き、マガンを市の鳥に選定した報告と、大崎市が次なる10年へ大きく羽ばたいていけるよう祈念申し上げてまいりました。

マガンの朝の飛び立ちには、圧巻・雄健です。その光景に触れながら、今年「鳥の目・鶏口牛後」の心構えで職務に取り組んでいこうと決意を新たにしたいところですね。

人生や仕事に成功するためには、「鳥の目(マクロロ全体)」、「虫の目(ミクロ部分)」、「魚の目(トレンド・流れ)」が必要と言われております。

その三つの目の中で、今一番大切なのは「鳥の目」ではないでしょうか。先行き不透明な時代だからこそ、大空をかける鳥の

ように、高いところから広い視野を持つて、物事全体を見つめていく大局観「鳥の目」がとても大切な視点です。

さらに、中国「史記」の教え、「鶏口牛後(鶏口となるも牛後となるなかれ)」の心構えです。
大きな組織の末端にいるより、小さな組織でもその中でトップとなって活躍する方が、尊いという考え方が求められます。

自立・変革が求められる今、寄らば大樹の陰よりも、オンリーワンをめざす変革の主体者の考え、行動が求められます。
西年の今年、一層活躍が期待されるパタ崎さんともども、全国へ・未来へ羽ばたいてまいります!



大崎市長 伊藤 孝志